



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 住友ファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL <https://www.sumitomo-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート コミュニケーション担当 (氏名) 野口 直記 (TEL) 06-6203-5321
 四半期報告書提出予定日 2024年2月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	235,028	△48.9	△96,387	—	△117,745	—	△117,699	—	△117,708	—	△60,408	—
2023年3月期第3四半期	460,265	6.5	42,926	△27.2	△17,777	—	△32,627	—	△18,502	—	28,682	25.9

(参考) 税引前四半期利益 2024年3月期第3四半期 △105,191百万円 2023年3月期第3四半期 2,192百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益(調整項目)を除いて算出しています。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△296.28	—
2023年3月期第3四半期	△46.57	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	1,059,970	343,593	343,551	32.4	864.73
2023年3月期	1,134,742	406,782	406,749	35.8	1,023.80

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	14.00	—	7.00	21.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	317,000	△42.9	△134,000	—	△156,000	—	△141,000	—	△354.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

			Myovant Sciences Ltd.
			Sumitomo Pharma Oncology, Inc.
新規	一社(社名)	、除外	6社(社名) Sumitovant Biopharma, Inc.
			Myovant Sciences, Inc.
			Enzyvant Therapeutics GmbH
			Altavant Sciences GmbH

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期第3四半期	397,900,154株	2023年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2024年3月期第3四半期	609,052株	2023年3月期	608,365株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期第3四半期	397,291,364株	2023年3月期第3四半期	397,292,402株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・医薬品・医療機器(開発中のものを含む)に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算説明会資料を開示しています。
- ・当社は、2024年1月31日(水)に機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向けに、第3四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しています。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものととなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりです。

(単位：億円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上収益	4,603	2,350	△2,252	△48.9
コア営業利益	429	△964	△1,393	—
営業利益	△178	△1,177	△1,000	—
税引前四半期利益	22	△1,052	△1,074	—
四半期利益	△326	△1,177	△851	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	△185	△1,177	△992	—

■ 売上収益は2,350億円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

進行性前立腺がん治療剤「オルゴビクス」、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「マイフェンブリー」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」（以下「基幹3製品」）の売上は増加しましたが、非定型抗精神病薬「ラツダ」の米国での独占販売期間が終了した影響や、連結子会社であった住友ファーマフード&ケミカル株式会社および住友ファーマアニマルヘルス株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、当該2社が当社グループ傘下でなくなったことなどから、減収となりました。

■ コア営業損失は964億円の損失（前年同四半期は429億円の利益）となりました。

北米グループ会社の再編等による販売費及び一般管理費の減少に加え、住友ファーマアニマルヘルス株式会社の株式譲渡によるその他の収益の計上がありました。減収による売上総利益の減少の影響が大きく、コア営業損失となりました。

■ 営業損失は1,177億円の損失（前年同四半期は178億円の損失）となりました。

前年同四半期には、特許権等の減損損失がありましたが、当四半期はコア営業損失になったことに加え、北米グループ会社の再編に伴う事業構造改善費用を計上したことにより、営業損失は前年同四半期と比較し増加しました。

■ 税引前四半期損失は1,052億円の損失（前年同四半期は22億円の利益）となりました。

円安の影響により為替差益を計上しましたが、営業損失の影響が大きく、税引前四半期損失となりました。

■ 四半期損失は1,177億円の損失（前年同四半期は326億円の損失）となりました。

当四半期は税引前四半期損失が損失となったことから、四半期損失は前年同四半期と比較し増加しました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期損失は1,177億円の損失（前年同四半期は185億円の損失）となりました。

四半期損失の増加の影響が大きく、非支配持分に帰属する利益を控除した親会社の所有者に帰属する四半期損失は前年同四半期と比較し増加しました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更したことに伴い、前第3四半期連結累計期間についても変更後の報告セグメント区分に組み替えて比較を行っています。当該報告セグメントの変更の詳細は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (2) 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

<日本>

■ **売上収益は892億円（前年同四半期比39.2%減）となりました。**

2型糖尿病治療剤「ツイミーグ」や「ラツダ」などの売上が伸長しましたが、2022年12月に2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の販売提携が終了したことに加え、前年同四半期にはライセンス契約の契約一時金の売上収益計上があったことや、国内連結子会社2社について、それぞれの全株式を譲渡したことに伴い、当該2社が当社グループ傘下でなくなったことなどから、減収となりました。

■ **コアセグメント損益は113億円の利益（前年同四半期比42.6%減）となりました。**

販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少の影響が大きく、減益となりました。

<北米>

■ **売上収益は1,154億円（前年同四半期比58.7%減）となりました。**

基幹3製品や小児先天性無胸腺症治療剤「リサイミック」の売上は増加しましたが、「ラツダ」の米国での独占販売期間が2023年2月に終了した影響が大きく、減収となりました。

■ **コアセグメント損益は601億円の損失（前年同四半期は557億円の利益）となりました。**

「ラツダ」の独占販売期間終了および北米グループ会社の再編等に伴い販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少の影響が大きく、コアセグメント損失となりました。

<アジア>

■ **売上収益は305億円（前年同四半期比10.9%減）となりました。**

東南アジアにおいて売上収益は増加しましたが、中国において薬剤費抑制策の影響を受けたカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上減少の影響が大きく、減収となりました。

■ **コアセグメント損益は140億円の利益（前年同四半期比20.9%減）となりました。**

減収による売上総利益の減少により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、当社が保有する投資有価証券の公正価値評価の変動等によりその他の金融資産が増加したことに加え、為替換算の影響によりのれんや無形資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ429億円増加しました。

流動資産は、棚卸資産は増加しましたが、現金及び現金同等物やその他の金融資産が減少した結果、前連結会計年度末に比べ1,177億円減少しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ748億円減少し、1兆600億円となりました。

負債については、金融機関からの借入金等が増加しましたが、北米での売上割戻金にかかる引当金やその他の流動負債等が減少した結果、前連結会計年度末に比べ116億円減少し、7,164億円となりました。

資本合計は、保有投資有価証券の公正価値変動および円安の影響によりその他の資本の構成要素が増加しましたが、利益剰余金が減少した結果、前連結会計年度末に比べ632億円減少し、3,436億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は32.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期損失となったことに加え、引当金が減少したことや法人所得税の支払額が増加したことなどにより、前年同四半期に比べ2,873億円収入が減少し、2,307億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却や住友ファーマアニマルヘルス株式会社の株式譲渡に伴う子会社の支配喪失による増加、短期貸付金の減少等により、前年同四半期に比べ167億円収入が増加し、383億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、前年同四半期に比べ1,051億円収入が増加し、721億円の収入となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物に係る換算差額および売却目的で保有する資産への振替額を加えた結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は365億円となり、前連結会計年度末に比べ1,070億円減少しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2023年5月15日に公表した2024年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	362,000	△62,000	△78,000	△80,000	△201.36
今回修正予想 (B)	317,000	△134,000	△156,000	△141,000	△354.90
増減額 (B-A)	△45,000	△72,000	△78,000	△61,000	—
増減率 (%)	△12.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	555,544	16,364	△76,979	△74,512	△187.55

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

2. 修正の理由

今回修正予想においては、通期の想定為替レート（期中平均為替レート）を前回発表予想の1ドル130.0円から145.0円、1元19.5円から20.0円に見直しています。

売上収益は、想定為替レートを見直したことによる増収の影響はあるものの、北米セグメントにおいて基幹3製品やラツダ等の下方修正を見込むことから、前回発表予想から450億円減の3,170億円に修正しました。

一方、販売費及び一般管理費、研究開発費については、想定為替レートの見直しの影響が大きく、それぞれ200億円、80億円の増加を見込んでいます。

以上の結果、コア営業利益は、前回発表予想から720億円減の1,340億円の損失に修正しました。また、営業利益は、昨年7月に実施した北米グループ会社の再編に伴う事業構造改善費用等が想定を上回る見込みであることから、前回発表予想から780億円減の1,560億円の損失に修正しました。

また、金融収益において、想定為替レートの見直しにより、為替差益の増加を見込んでおり、これを加味した親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回発表予想から610億円減の1,410億円の損失に修正しました。なお、減損テストは第4四半期連結会計期間に実施する予定であり、減損損失については当該業績予想には織り込んでいません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	460,265	235,028
売上原価	139,766	93,190
売上総利益	320,499	141,838
販売費及び一般管理費	289,469	191,558
研究開発費	75,996	73,647
その他の収益	28,274	7,147
その他の費用	1,085	1,525
営業利益 (△は損失)	△17,777	△117,745
金融収益	22,648	15,288
金融費用	2,679	2,734
税引前四半期利益 (△は損失)	2,192	△105,191
法人所得税	34,819	12,508
四半期利益 (△は損失)	△32,627	△117,699
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者持分	△18,502	△117,708
非支配持分	△14,125	9
四半期利益 (△は損失)	△32,627	△117,699
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)	△46.57	△296.28

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益 (△は損失)	△32,627	△117,699
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	23,489	35,403
確定給付負債(資産)の純額の再測定	—	△2
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	37,896	21,890
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△76	—
その他の包括利益合計	61,309	57,291
四半期包括利益合計	28,682	△60,408
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	37,045	△60,417
非支配持分	△8,363	9
四半期包括利益合計	28,682	△60,408

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	58,909	59,019
のれん	209,415	222,415
無形資産	329,314	332,372
その他の金融資産	134,007	161,015
未収法人所得税	6,042	6,417
その他の非流動資産	4,350	5,763
繰延税金資産	10,845	8,802
非流動資産合計	752,882	795,803
流動資産		
棚卸資産	94,405	104,769
営業債権及びその他の債権	95,908	94,465
その他の金融資産	20,174	6,349
未収法人所得税	2,722	2,841
その他の流動資産	17,675	19,286
現金及び現金同等物	143,478	36,457
小計	374,362	264,167
売却目的で保有する資産	7,498	—
流動資産合計	381,860	264,167
資産合計	1,134,742	1,059,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	244,128	184,254
その他の金融負債	11,869	12,689
退職給付に係る負債	5,008	4,616
その他の非流動負債	57,756	44,831
繰延税金負債	36,505	48,832
非流動負債合計	355,266	295,222
流動負債		
借入金	90,588	227,588
営業債務及びその他の債務	52,141	50,385
その他の金融負債	7,010	13,901
未払法人所得税	24,053	1,803
引当金	119,083	77,401
その他の流動負債	78,013	50,077
小計	370,888	421,155
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	1,806	—
流動負債合計	372,694	421,155
負債合計	727,960	716,377
資本		
資本金	22,400	22,400
自己株式	△682	△682
利益剰余金	280,999	171,708
その他の資本の構成要素	103,357	150,125
売却目的で保有する資産に 関連するその他の包括利益	675	—
親会社の所有者に帰属する持分合計	406,749	343,551
非支配持分	33	42
資本合計	406,782	343,593
負債及び資本合計	1,134,742	1,059,970

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	22,400	16,725	△681	514,210	23,838	—	31,273
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△18,502	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	23,489	—	32,134
四半期包括利益合計	—	—	—	△18,502	23,489	—	32,134
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	1,341	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	1,617	△1,617	—	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	—	—	—	—	△1,562	—	—
所有者との取引額等合計	—	1,341	△1	△9,507	△3,179	—	—
2022年12月31日残高	22,400	18,066	△682	486,201	44,148	—	63,407
2023年4月1日残高	22,400	—	△682	280,999	39,260	—	64,097
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△117,708	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	35,403	△2	21,890
四半期包括利益合計	—	—	—	△117,708	35,403	△2	21,890
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△2,781	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	675	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	10,523	△10,525	2	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△0	8,417	△10,525	2	—
2023年12月31日残高	22,400	—	△682	171,708	64,138	—	85,987

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益			
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計				
2022年4月1日残高	123	55,234	—	607,888	65,681	673,569
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△18,502	△14,125	△32,627
その他の包括利益	△76	55,547	—	55,547	5,762	61,309
四半期包括利益合計	△76	55,547	—	37,045	△8,363	28,682
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△11,124	—	△11,124
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	1,341	5,559	6,900
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△1,617	—	—	—	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	△47	△1,609	1,609	—	—	—
所有者との取引額等合計	△47	△3,226	1,609	△9,784	5,559	△4,225
2022年12月31日残高	—	107,555	1,609	635,149	62,877	698,026

2023年4月1日残高	—	103,357	675	406,749	33	406,782
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△117,708	9	△117,699
その他の包括利益	—	57,291	—	57,291	—	57,291
四半期包括利益合計	—	57,291	—	△60,417	9	△60,408
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△2,781	—	△2,781
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	△675	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△10,523	—	—	—	—
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△10,523	△675	△2,781	—	△2,781
2023年12月31日残高	—	150,125	—	343,551	42	343,593

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益 (△は損失)	△32,627	△117,699
減価償却費及び償却費	32,089	28,260
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△5,890
減損損失	56,043	—
受取利息及び配当金	△3,572	△2,674
支払利息	2,026	2,509
法人所得税	34,819	12,508
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△4,989	4,736
無形資産売却損益 (△は益)	△12,067	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,287	△5,707
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	6,186	△7,355
前受収益の増減額 (△は減少)	△1,344	△12,889
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	△4,271	6,867
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	△423
引当金の増減額 (△は減少)	20,596	△49,582
その他	△25,509	△46,633
小計	76,646	△193,972
利息の受取額	2,435	1,861
配当金の受取額	965	883
利息の支払額	△1,395	△1,921
法人所得税の支払額	△22,120	△37,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,531	△230,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,906	△6,491
有形固定資産の売却による収入	625	422
無形資産の取得による支出	△3,539	△4,400
無形資産の売却による収入	12,204	—
投資の取得による支出	△5,872	△4,110
投資の売却及び償還による収入	9,851	31,847
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	12,413	10,000
子会社の支配喪失による増減額 (△は減少)	—	11,074
その他	1,911	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,687	38,342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	559	77,000
長期借入金の返済による支出	△20,020	—
リース負債の返済による支出	△3,357	△2,590
配当金の支払額	△11,114	△2,791
その他	915	496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,017	72,115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,201	△120,275
現金及び現金同等物の期首残高	202,984	143,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,046	12,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	268,231	35,322
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,458	1,135
現金及び現金同等物の四半期末残高 (要約四半期連結財政状態計算書計上額)	265,773	36,457

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要性がある会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しています。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、アジアのマーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、アジアの3つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントを日本、北米、中国、海外その他の4つとしていましたが、中期経営計画2027の策定に伴い、当社グループの経営状況をより適切に示すため、第1四半期連結会計期間より、日本、北米、アジアの3つの報告セグメントに変更しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しています。

(3) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりです。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

① 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	146,670	279,366	34,229	460,265
セグメント利益 (コアセグメント利益)	19,673	55,685	17,669	93,027

② 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	89,157	115,390	30,481	235,028
セグメント利益 (△は損失) (コアセグメント利益 (△は損失))	11,299	△60,076	13,984	△34,793

(4) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

調整額に関する事項は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメント計	93,027	△34,793
研究開発費（注1）	△74,854	△67,959
事業譲渡益等	24,712	6,391
その他	41	△26
コア営業利益（△は損失）	42,926	△96,387
減損損失	△56,074	—
事業構造改善費用（注2）	△8,202	△20,497
その他の収益	3,521	782
その他の費用	△1,085	△1,525
その他	1,137	△118
要約四半期連結財務諸表の営業利益（△は損失）	△17,777	△117,745

(注) 1 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される研究開発関連費用です。

2 事業構造改善費用は、北米グループ会社等の再編に関連する退職金等の費用です。

(減損損失)

前第3四半期連結累計期間において、医薬品事業の北米セグメントにおいて56,043百万円の減損損失を認識し、要約四半期連結損益計算書の販売費及び一般管理費に計上しています。

当該減損損失は、医薬品事業の北米セグメントにおける、パーキンソン病に伴うオフ症状治療剤「キンモビ」に係る特許権の減損損失55,778百万円、及びソフトウェア等の減損損失265百万円です。

「キンモビ」に係る特許権、及びソフトウェア等について、収益性が見込めなくなったため、帳簿価額全額を減額しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。